

「授業で輝く」「明るいトーンのあいさつ」

260107

3学期のスタートに当たって、みなさんに意識してほしいことを今から2つ伝えます。

1つ目は、「授業で輝く姿」を目指してほしいということです。「命輝く」という言葉を私は何度も伝えてきました。そして、みなさんも、先生方も、その「命輝く姿」を行事を始め様々な場面で意識してくれていることが伝わってきます。そこで、この3学期は命輝く姿を授業のなかで今まで以上に目指してほしいと思っています。「今までよりも勇気を出して発言する回数を増やす。」「友達の意見と絡めて意見を言う。」「今までよりももう一步踏み込んで考えてみる。」「分からないと投げ出す前にもう一回解いてみる。」そんな姿を期待しています。先生たちも、研究授業に何度も取り組んで、みなさんにより分かりやすい授業を、「やってみよう」「考えてみよう」というやる気になる授業を創り出そうと取り組んでいます。ぜひ、一緒に授業で輝くことを目指しましょう。

2つ目は、「あいさつ」のレベルアップです。生徒会の取組として「命よ輝け！幸中相さつプロジェクト」が行われています。「あいさつDAY」を設定したり、12月には、あいさつリーダーを募ってあいさつを広める活動が行われたりしました。私はこの取組がとてうれしいですし、応援しています。そこで、私からの提案です。あいさつをするときの声のトーンを意識してみてください。同じ「おはようございます」でも、声のトーンによって、相手に伝わるものが大きく違います。今から3回「おはようございます」を言うので、違いを感じてみてください。

「おはようございます」



「おはようございます」



「おはようございます」



どうですか？違いがわかりましたか？

気分の重い朝でも、意識をしてトーンを上げて「おはよう」ということで、きっと自分自身の気持ちも明るくなると思います。これは、私が毎朝、交通立ち番で、みなさんや地域の方にあいさつをする中で、実際に感じていることなので間違いありません。みなさんに「おはよう／＼」ということで、私の心は晴れやかになっていきます。ぜひ、みなさんにも、トーン1つで変わる、その心地よさを味わってほしいです。そして、教室の雰囲気や、学校の全体の空気を大きく変える、明るいトーンの「輝くあいさつ」を心掛けていってほしいと思っています。

(R7年度3学期始業式 式辞より)